

【法常寺の名宝を紹介しています】

皇室にゆかりのある法常寺（畑野町千ヶ畑）にある宝物などを特別展示した『亀岡の名宝展』が、古世町の亀岡市文化資料館で開催されています。

江戸時代初期の後水尾上皇（ごみずのお じょうこう）が帰依した法常寺の住職／一絲文守（いっし もんしゅ）と上皇がやり取りした親書『宸翰（しんかん）』や上皇の命で京狩野派の絵師／狩野永納（かのう えいのう）が描いた『穴太寺縁起絵巻』、昨年に新たに発見された海北友雪（かいほう ゆうせつ）が描いた『物語図屏風』などの重要文化財の宝物も展示されています。

コロナ禍で遠出がしにくいいま、畑野の文化資産に触れ親しんでみてはいかがでしょうか。

- ・ 展示期間は、3月13日まで（月曜日休館）
- ・ 入館料は、一般500円・小中学生200円
- ・ 2月20日と3月6日の午後1時30分からは、関連の連続歴史講座も開催されています。
- ・ 詳しくは、亀岡市文化資料館まで（☎0771 - 22 - 0599）

